2013年1月2日「横山町問屋新聞」



入社して楽しかったこと・学んだこと・抱負・趣味etc

# 新入社員からのメッセージ

横山町奉仕会加盟商社に昨春入社した新入社員有志に、卸売業界に飛び込んで楽しかったことや学んだこと、抱負や趣味などを綴ってもらいました。お仕入れのお客様方には、彼らを温かいご理解と励ましで幾久しく育てて頂きたく、お願い申し上げます。

## 日々笑顔で！

（株）シモジマ　横山町店　1階

松田 絵里香（まつだ・えりか）

4月、シモジマに入社してから7カ月、横山町店に配属されてから半年が経ちました。毎日違う店舗で研修を行うと言われ、不安しかありませんでした。

私の初めての研修場所は横山町店でした。緊張と不安でいっぱいだったのですが、先輩の「おはよう！」という明るい声、笑顔がとても印象的で今でも思い出せるくらいです。

そして、ロッカーに貼ってあったメッセージカードにもとても感動しました。先輩が、まだ会った事もない入社1カ月の私に向けて書いて下さったものでした。

初めて販売員として売場に立った時、見たことのない商品がたくさんあり、質問ばかりしていました。その質問ひとつひとつに丁寧に答えて下さる先輩方の人柄に、尊敬と憧れの気持ちを持ちました。絶対にこの店舗で働きたいと思いました。

配属先が決まった時、笑顔が抑えられなかった事を覚えています。私は横山町店の1階に配属されました。1階はお客様と直接関われる事が多く、今はお客様とのお話しが楽しく、名前を覚えて下さるのが本当に嬉しいです。

任せてもらえる仕事も少しずつ増えていき、新しい仕事を覚えるのは大変ですが、楽しいです。ミスをしてしまった時、励まして頑張れと言って下さる先輩が本当に憧れです。

私も数年後、今の先輩をきちんと支えることができるように、お客様に頼って頂けるように、目の前の事からしっかり向き合って成長します！よろしくお願いします！

# 新入社員からのメッセージ

## 憧れの先輩の存在

（株）シモジマ　浅草橋5号館　3階
永見 桜（ながみ・さくら）

昨年、（株）シモジマの会社説明会で「福利厚生は人柄」という言葉を聞き、入社を決めました。入社をしてからは一人で各店舗へ研修にいく日々が続き、緊張と慣れない仕事の連続で、ただがむしゃらに研修を受けることしかできませんでした。その研修の中、浅草橋5号館で出会った一人の上司の方が印象的でした。私が伝えたいその方とのエピソードがあります。

数回目の研修で少しずつ慣れてきた頃、私はお客様に商品の違いを聞かれ、少し戸惑いましたが二つの商品を比べ、自分なりに一生懸命お客様に説明しました。そして、そのやりとりを少し離れたところで見守ってくれていた上司の方が「良かったよ、今の接客！」と声をかけてくださいました。

研修生がお客様に話しかけられているのを見るとすぐに寄ってきて助けてくれる方が多い中、その方は私がどのように接客するか見てくれていたのです。研修生に対してそのような気遣いができる人がいることは、私にとってとても嬉しいことでした。同時に少しだけ自信がついた気がしました。

今、私はその方の後輩として浅草橋5号館で働いています。その方に近付くにはまだまだ時間がかかりそうですが、目標ができ、やりがいも感じています。これからさらに一人前の社員になれるように努力していきたいと思います。

## 私のこれから頑張りたいこと

（株）シモジマ　浅草橋5号館　5階
大場 萌（おおば・めぐみ）

私が5号館に配属になってから半年が経ちました。最初は担当のフロアの商品すら場所がわからず、棚埋めすら先輩に聞きながらでした。しかし「新人でも笑顔とあいさつはできる」と思い、この2つは今でも心がけながら仕事をしています。

最初と比べると出来る仕事も増えてきました。自分の担当の棚を任されたり、レジに入ったり、商品を取り寄せてお客様に提供したり。しかし出来ることが増えてきた反面、責任の大きさも増え、確認作業の大切さを学びました。

電話での接客の際も、名前、電話番号、商品、お支払方法などは必ず最後に確認するように心がけています。繁忙期だからこそ念入りに行い、クレームへ繋がらないようにしなければならないと思います。

私はまだ仕事の手際が悪く、スムーズに対応できないことが多々あります。仕事を処理するためには、「在庫を確認し、商品を取り寄せ、発送する」など仕事によって必ず順番があります。今何をするのがベストなのか。今からやろうとしている仕事のひと通りの流れはわかっているのかを常に意識して、仕事をするように心がけています。

あと半年後にはこんな私でも先輩になります。それまでに今よりもっと出来ることを増やし、何事にも積極的に取り組んでいきたいと思います。

## 目標

（株）シモジマ　浅草橋5号館　7階
神成 美加（かんなり・みか）

入社して早半年以上が経ちました。棚埋めばかりしていた配属されて間もない頃と比べ、今ではレジ業務や発注、お客様対応等、出来る仕事がどんどん増えてきて、まだまだ未熟ながらもやり甲斐を感じつつあります。その反面で問題を引き起こすリスクも上がってきたという実感もあります。

客注を受けたとして、とりあえず自分でやってみる。後で先輩にチェックして頂いて間違っていたら直すといった行為が多い私は、ことあるごとに指摘を受けます。

指摘を受けたことは頭によく残りますが、それが許されるのは学生のうちだけと言われてきました。研修で習った社会人としての基本の報・連・相が出来ていなかったのです。このままではいけないと、7階のとある先輩を目標に動くようにしています。

その先輩は、わからないことは無いのではないかと思うくらい知識が豊富な上に、他の社員への配慮も忘れないのです。その上、私とは1年しか入社歴は変わりません。1年後、正直私は先輩と同じくらいに成長出来る自信がありません。しかし、別の先輩は〝出来ない〟ではなく〝やる〟のだと言っていました。この名言に私はとても影響を受け、以来目標の先輩に近づけるよう日々努力しています。

更に持ち前の笑顔を生かして親しみ易い、気分の良い店員になるという目標もあるので、今から半年後にはそうなる為に、日々勉強で努力し続けていきます。